



## 温故知新

### 「年表で見る関川村の平成・令和」 の刊行に寄せて

教育長 津野庄一郎

今年6月1日、ようやく村史が完成し、各家庭に配布されました。ご覧になられた方もおいでかと思えます。これは関川村発足70周年記念事業として「編集委員会」(委員長:安久昭男)を中心に取組んできたものです。加藤村長の発刊の言葉の通り、「関川村の歩みを次世代へつなぐ確かな礎となり、村の未来を形づくる一助となる」ことを願い刊行されました。

平成から令和へと続く約30年は、関川村にとっても激動の時代でした。平成の大合併に組みせず自立と協働の村を目指す一方、人口減少や少子高齢化、自然災害といった大きな課題に直面しながら、村民の工夫と努力で文化や伝統が守られ、特色ある地域づくりへの挑戦が続けられてきました。学校教育では、7つの小学校が関川小に、女川中学校と関谷中学校は関川中に統合したのもこの時期で、以来、地域に根差した教育活動が進められ、子どもたちの郷土愛を育んできました。

「年表」には地域の主な出来事が記されています。一つ一つは短い記録にすぎませんが、その裏には多くの村民の汗や願いが込められています。「写真」は当時の空気や村民の表情を映し出し、「コラム」は時々のエピソードを紹介しています。

子どもたちには、ご家族と一緒に、自分のふるさとの歩みを知り、「関川村はすごいな」「村のことをもっと知りたいな」と感じてほしいと思います。そして、大人の皆様には、村の歴史を振り返りながら、これからの関川村の姿を考えるきっかけとなれば幸いです。

本誌が過去の歴史に学んで現在を理解し、未来を創る力になること、また、ふるさと関川を愛し、誇り、学び続けるための「教科書」として、そして、より多くの人に関川村のよさを理解してもらうための「ハンドブック」として活用されることを願っています。

結びに、歴史を編む本事業に携わった皆様に、心より感謝申し上げます。

<写真:「年表で見る関川村の平成・令和」の表紙>